

会 議 録

1 会議名

第4回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）市からの報告

・安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合方式について

○協議（公開）

（1）自主的審議事項の検討について

○その他（公開）

・浦川原区地域協議会だより第53号の発行について

3 開催日時

令和4年7月26日（火）午後6時30分から7時30分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：相澤誠一、赤川義男、池田幸博副会長、春日清美、北澤誠、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏禎会長、宮川勇、村松進副会長

・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、大橋次長、竹田次長、産業グループ山本グループ長、滝澤主幹、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ山崎グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、西條主任、教育委員会教育総務課瀧本課長、小林参事

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者は11人。欠席者は小野正広委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：北澤誠委員に依頼。

【藤田会長】

それでは、「2 報告」に入る。「(1) 会長報告」として1件報告があるが、自主的審議事項に関係することなので、後ほどの協議の中で説明する。

続いて「(2) 委員報告」に移る。中学校の統合について、北澤正彦委員から報告をお願いします。

【北澤正彦委員】

6月30日、午後6時30分から開催された、第2回「安塚区・浦川原区・大島区の中学校統合に向けた統合方式の意見交換会」に出席したので報告する。出席者は、前回同様、各団体の代表者と教育委員会の3人で、欠席者は1人であった。

始めに、教育委員会から、前回の地域協議会でも説明のあった、3区の小・中学校と保育園の保護者に対して行った「中学校の統合方式に係るアンケート」の結果について説明があった。その後、出席者一人一人に各団体の意向を確認し、新設統合の意見が多数であることとアンケート結果から、3区の中学校の統合方式が「新設統合」に決定された。今後は、校名の決定など新設統合に向けた検討をしていく中で、適宜、進捗状況を住民の皆さんに知らせるということであった。また、今回の意見交換会に先立ち、3区の中学校の生徒に対して、教育委員会が学校統合について説明を行ったと報告があった。以上が、意見交換会当日の流れである。

意見交換会の資料に、教育委員会から説明を受けた後の3区の中学生の思いが記載されていた。これを見ると、いろいろな期待や不安を感じているようであり、この統合が順調に進めば、今の1年生が3年生になる時に統合となる。3年生は受験という大変な時期を迎えることとなり、保護者も気を遣うのではないかと思う。教育委員会には、子どもたちへの細やかな配慮を優先的にお願いしたいと感じた。

今後、統合に向けた検討が進むにつれて、各学校を取り巻く地域住民のいろいろな思いが表面化すると思われるが、「子どもたちにとって良い学習環境をつくる」という思いの中、

気持ちの良い統合となることを望む。また、今後も、正確で速い情報の開示と丁寧な説明をお願いすることとし、私からの報告とする。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、後ほど教育委員会から説明があるので、何かあれば、その時にお願いします。

続いて、村松副会長から中学生との意見交換会について報告をお願いします。

【村松副会長】

今年度の中学1年生の生徒数は13人である。

昨年度は、実行委員で見学先を決定し、中学校側から「非常に良かった」とお礼があった。

「今年度も同じように実施していただけないか」という要望もいただいているが、今年度は1年生が13人で、昨年度より少なく、この取組を深掘りするためには、現地見学等の時期を早めていきたいと考えている。今後、どのように実施していけば良いか、実行委員で検討していきたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がないようなので、村松副会長を中心に、実行委員で進めていただきたい。

続いて、「(3)市からの報告」に移る。「安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合方式について」、教育総務課から瀧本課長、小林参事がお見えになっている。資料1に沿って説明をお願いします。

【教育総務課瀧本課長】

3区の中学校統合に向けた統合方式の意見交換会の開催に当たり、地域協議会としての意見をまとめていただき、感謝申し上げます。

2回の意見交換会を経て、各団体の意見や保護者アンケートの結果を踏まえ、教育委員会として「新設統合」とすることを決定した。今後は、統合に向けて取り組んでいきたいと考えている。

今後の取組予定について、小林参事から説明させていただく。

【教育総務課小林参事】

(資料1に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

【北澤誠委員】

統合実行委員会が立ち上がったからの話になると思うが、校名の候補については、時間がないから識者会議に委ねることになるのか。また、行政の悪いところというか、それぞれの手続が非常に回りくどく感じる。諮問、答申など、ここまで回りくどくしなければならないのか。

【教育総務課小林参事】

校名については、ある程度期間を設けて、広く3区の皆さんから公募する予定である。また、諮問については、浦川原区、安塚区、大島区の中学校の廃止について、各地域協議会に諮問することとなる。浦川原区においては、中学校の廃止後に新設統合校を設置することになるため、この件について諮問し、答申いただくことをご理解いただきたい。

【北澤誠委員】

了解した。

【藤田会長】

資料には「後援会組織」とある。現在、浦川原中学校には後援会ではなく、同窓会が組織されているが、他の2校はどのようなになっているのか。また、宮川委員は浦川原中学校の同窓会長であり、今後の進め方について、何か意見があればお願いします。

【教育総務課小林参事】

安塚中と大島中は後援会で、浦川原中学校は同窓会が組織されている。これらの組織をどのように一本化していくのか、また、別の方法で進めていくのかについては、統合実行委員会に各団体の代表の方から集まっていただき、そこに、各校の校長も入りながら丁寧に検討していく。

【宮川委員】

私は直接何も聞いていないので、現段階でお話しできるものはない。

【藤田会長】

浦川原小学校の統合の際、後援会と同窓会のどちらにするか、大変揉めた^も経緯がある。結果として、同窓会ではなく後援会となり、3校の同窓会の関係書類等を全て浦川原小学校で預かるということになった。これは、新たに後援会を発足させることにより、比較的スムーズに移行できた事例ではないかと思っている。

現在、浦川原小学校では、統合前の3つの小学校ごとに同窓会の関係書類が分類され、必要な時にすぐに取り出せるようになっていると思われる。そういった事例も参考としていただければ良いのではないか。

宮川委員に申し上げたいことは、同窓会として話を進めるよりも、今後、後援会という形で進めて行く方が良いのではないかということである。

もう一点、統合校の教育課程の作成については、どうお考えか。

【教育総務課小林参事】

現在は各中学校にそれぞれの教育課程がある。今回の新設統合では、各中学校の良いところを持ち寄り、新たに教育課程を作成することとなる。他の学校の事例では、統合先となる学校の教育課程をベースに、それぞれの学校の特徴的なものを取り入れ、地域性を反映できるようにしていく。これは、学校の先生が作成し、学校運営協議会から意見をいただくこととなる。

【藤田会長】

いろいろな意見が出てくると思うが、よろしく願います。

また、現在、浦川原区地域協議会では、公共交通に関して盛んに議論している。その中で、「ほくほく線の利活用」について、以前にも申し上げたが、安塚区、大島区におけるほくほく線を利用した通学について検討していただきたい。このことは、大きな課題として取り上げていただき、今後、議論されると思われる「小学校の統合」にも関係すると思うので、その辺を考慮して、いろいろな意見を聴取しながら検討していただきたい。

【北澤正彦委員】

現在、中学校の部活動に関して、「地域移行」という話が出ていて、上越市でも検討委員会が設置されているが、この話は、統合実行委員会の検討内容に入っていないのか。また、「運動部だけでなく文化部も」という話が出ているが、詳しい内容が見えてこないのか、どうなっているのか、分かる範囲で聞かせていただきたい。

【教育総務課小林参事】

部活動については、教育課程に関わってくる部分であり、3校の校長や先生方が、地域性や将来的な人数等を考慮しながら、どのような部活動を設置するか考えていくこととなる。

【北澤正彦委員】

現在、休日の部活動を地域の活動団体に移譲するという方向で動かれていると思う。これは私の勝手な想像であるので、そのように聞いてほしいが、学習指導要領が変わっていく中で、令和6年頃には、部活動が学習の一つから外れるのではないかと考えている。それに向けて、地域移行という話が出てきているのではないか。このことについて、教育委員会から地域団体にアプローチしているのか、していないのか、それとも、今後の展開によって、地域の団体に受け入れる体制があれば、そのような部分も視野に入れて、統合実行委員会の検

討内容に盛り込んでいくこととなるのか。

【教育総務課小林参事】

部活動の地域移行については、大きく動いているところであり、今回新たに統合する中学校で、どのような部活動にするのか、校長は、それぞれの地域での視点を持っていると考えられ、また、地域においてどのような部活動を受け入れることができるのかも含めた上で、検討していくこととなる。今後、学校運営協議会に諮り、その際に指導者の有無や部活動のニーズについても検討されるものと思っている。

【藤田会長】

ほかに意見がなければ、ここで教育総務課の皆さんは退席いただいて結構である。

(教育総務課退席)

次に、「3 協議」に移る。「(1) 自主的審議事項の検討について」、AグループとBグループからそれぞれの取組状況を報告いただき、皆さんから意見をいただきたい。

それでは、Aグループから報告をお願いします。

【池田副会長】

7月21日木曜日、3回目のグループワークを行い、今までの経過の確認と今後の進め方について話し合いを行った。Aグループとして、令和5年度の予算編成に向けて検討していきたいという点について、北澤正彦委員から、「文化の伝承をテーマに検討を進めていきたい」という話があった。

今後の進め方として、文化の伝承について早急に検討を進めることとし、うらがわらスポーツクラブ、浦川原商工会、浦川原区町内会長連絡協議会の3団体との意見交換会についても、浦川原区の課題を捉えるという観点で並行して進めていくこととした。

文化の伝承については、8月3日水曜日に、第4回のグループワークを予定しており、今日はAグループの委員全員が出席しているので、案内に替えさせていただく。

また、3団体との意見交換会については、明日27日水曜日の午後4時に、宮川委員、杉田委員と私の3人で、浦川原商工会を訪問する予定である。いろいろな地域の課題について、理事の皆さんから意見を挙げていただきたい旨のお願いをする。

以上が、Aグループの進捗状況である。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

意見がなければ、私からBグループの取組状況について、報告する。

Bグループでは、7月11日と昨日25日にグループワークを行い、ほくほく線と区内の

送迎事業について、現状の整理と提案、それと予算審議について話し合いを行った。皆さんに会議資料を配付したので、後ほどご覧いただきたい。

ほくほく線の現状を整理すると、利活用については問題ないと思われるが、総合事務所ではなく、交通政策課が取りまとめているということであった。地域協議会としては、部会を設けて進めていきたいと考えていた。具体的には、社会福祉協議会やNPO法人夢あふれるまち浦川原などが福祉関係の仕事を受けていることから、そういった団体から積極的に利用していただくことを考えている。

次に特産品の通信販売については、北越急行単独で実施するとなると、なかなか難しい部分があり、ホームページ上にリンクを張る形で進めていってはどうかというアドバイスをいただいた。

また、観光パンフレットについては、浦川原区の細かい部分を掲載しているものがないので、今後予算化して対応していきたいと思う。なお、総合的な調整が必要となってくるため、今後の課題として進めていきたいと考えている。

さらに、地域協議会で審議するものとして、JR黒井駅へのほくほく線の全列車停車、上越妙高駅への直通便の増便、車両内のトイレ設置について、意見書を提出することを検討している。3件とも、非常にハードルが高いと思われるが、進めていくことを決定した。

次に、住民主導型の浦川原区内の送迎事業について、既存の補助金制度を活用する場合、1日の利用者数や送迎範囲などを詰めていく必要があるため、早急に案を作成し、9月末までに提案できるように進めていきたいと考えている。私の方で、8月10日までにたたき台を作成し、審議した上で、町内会を通してアンケート方式で意見を伺いたいと思っている。それらを取りまとめ、地域協議会として提案ができればと考えている。

また、浦川原区を6つのエリアに分け、うらがわら駅と虫川大杉駅以外に待ち合わせや休憩ができるような場所を設けたいと考えている。なお、駅の待合所をカフェにする場合、整備を市が行うことを想定しているが、管理・運営については民間が対応することになる。これを、NPO法人夢あふれるまち浦川原が中心となり、取り組んでいくことができるのか、裏付けを取りながら、予算を組み立てなければならないと思っている。

総合事務所からは、9月中に基本的な案を完成させ、10月の予算編成に組み込んでいくという流れになると話があったので、それに合わせて、皆さんの知恵をお借りしながら進めていきたい。

今回は、8月10日水曜日にBグループの皆さんから集まっていただき、送迎事業の協議をし、月末にアンケートを行って、区内の皆さんの意見等をまとめることとなる。

私からは以上となるが、質問や意見があれば願います。また、総合事務所から、今の説明で修正する部分等があれば願います。

【佐藤所長】

いずれにしても、8月10日には、もう少し詳しい内容としていただかないと、予算の検討ができない。今の段階では、まだ何とも言えない部分がある。

【藤田会長】

次に、「4 その他」に移る。「浦川原区地域協議会だより第53号の発行について」、資料2をご覧いただきたい。今回は1班の春日委員、北澤正彦委員、五井野委員と私の4人で担当した。広報上越8月号の配布に合わせて全戸配布している。

続いて、「市民と市長との対話集会」、「まちづくり市民意見交換会」、「出張なんでも懇談会」について、事務局から説明をお願いします。

【大橋次長】

「市民と市長との対話集会」について、7月25日配布の「だんらん」8月号に掲載し周知しているところである。浦川原区では、8月23日火曜日、午後6時30分から浦川原地区公民館で開催する。事前申込み制となっており、申込み期間は、7月22日から8月8日までとなっている。

次に、「まちづくり市民意見交換会」について、案内チラシを7月13日に委員の皆さんに送付しており、市の第7次総合計画の策定に当たって、多くの市民から意見をお聞きしたいということで開催する。今回で2回目となり、8月8日月曜日、午後6時30分から浦川原コミュニティプラザで開催する。委員の皆さんも是非参加していただきたい。こちらは、申込み不要である。

次に、「出張なんでも懇談会」の開催について、7月16日に2会場で実施したところであり、7月31日に月影地区と下保倉地区で開催する予定である。

このほか、当日配布資料として、男女共同参画推進センターの講座のチラシとマイナンバーカードの作成についてのチラシを配付させていただいたので、後ほどご覧いただきたい。

【藤田会長】

次に、「5 次回の開催日程」について、次回は8月29日月曜日、午後6時30分から浦川原コミュニティプラザで行う。

これで、第4回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。